日卵協が秋季講演会

「鳥インフルエンザに対する安全・安心」テーマに
食の安全と安心を科学する会　山﨑毅理事長が講演

（一社）日本卵業協会（会長＝米山大介㈱ホクリヨウ社長）は11月7日、東京都千代田区のホテルメトロポリタンエドモントで2023年度秋季講演会を開き、NPO法人食の安全と安心を科学する会（SFSS）の山﨑毅理事長（獣医学博士、獣医師）が「食の安全・安心とリスクコミュニケーション～鳥インフルエンザに対する安全・安心対策を議論する～」と題して講演した。

主催者を代表して米山会長は「11月のこの時期に鳥インフルエンザ発生に関するアンケートを実施した中で、困っていることとして『雇用調整助成金を申請したが、なかなかうまくいかない』と考えられないような気候で、本当であれば徐々に冷え込み鍋需要が出て、水省・食肉鶏卵課に『何とかならないか』という話をしていた。

昨日、皆様にメールで連絡した通り、鳥インフルエンザ発生で飼養鶏が殺処分と

山﨑毅氏

なる時に、発生農場自体にはそれを理由に雇用調整助成金は出ないが、関連して影響を受ける問屋、加工関係、配送関係などは、業績の落ち込みが前提で雇用調整助成金の申請対象になる。また、発生農場も移動制限が終わった後も業績が回復しない状態であれば、雇用調整助成金の申請対象になるということを、厚生労働省のホームページに出していただいた。今後そのような事態になった時は、申請もスムーズにいくのではないかと思う」とあいさつし、講師の山﨑氏を紹介した。

来賓として出席した農林水産省畜産局食肉鶏卵課の鈴木浩幸課長補佐は「我々と動物衛生課が協力して厚生労働省などの関係各所に皆様の声を届け、話し合ったうえで、雇用調整助成金について整助成金は出ないが、関しっかりと周知して適正に対処していくことをホームページに公表し、周知徹底を図っていきたいという言葉もいただいた。皆様からいただいた声を実現できたことに安心している」と述べた。

山﨑氏は、リスクと安全、安心について「リスクは将来、どの程度危険なのかという物差しで不確実性を伴うため、リスクが大きくても事故に遭うとは限らない。リスクの大小が正確に分かっているか）②その健康リスクが当該消費者にとって許容範囲か（安全か）どうか――を挙げ、「こ危害または損傷の危険性が許容可能な水準に抑えられている状態。許容できるリスクが残っている状態でも安全と言えるができるはずだが、消費者のリスク認知にはバイアスがあり、リスクの大小を勘違いして不安になる場合があるため、そのリスク誤認を解消するための優しいリスクコミュニケーションをする必要がある」と強調した。

消費者からの「鳥インフルエンザ感染のため大量の鶏が殺処分され、移動制限もかかっているとのこと。鶏肉や卵を食べても大丈夫なのか」との質問に対し、SFSSでは①食品中ハザードのリスク評価とリスク管理が綿密にできているか（リスクの大小が正確に分かっているか）②その健康リスクが当該消費者にとって許容範囲か（安全か）どうか――を挙げ、「この2点を分かりやすく伝えれば、消費者自身が安全か否かのリスクを判断し、話したうえで、雇用調整助成金について整助成金は出ないが、関しっかりと周知して適正に対処していくことをホームページに公表し、周知徹底を図っていきたいという言葉もいただいた。皆様からいただいた声を実現できたことに安心している」と述べた。

山﨑氏は、リスクと安全、安心について「リスクは将来、どの程度危険なのかという物差しで不確実性を伴うため、リスクが大きくても事故に遭うとは限らない。リスクの大小が正確に分かっているか）②その健康リスクが当該消費者にとって許容範囲か（安全か）どうか――を挙げ、「こ危害または損傷の危険性が許容可能な水準に抑えられている状態。許容できるリスクが残っている状態でも安全と言えるができるはずだが、消費者のリスク認知にはバイアスがあり、リスクの大小を勘違いして不安になる場合があるため、そのリスク誤認を解消するための優しいリスクコミュニケーションをする必要がある」と強調した。

消費者からの「鳥インフルエンザ感染のため大量の鶏が殺処分され、移動制限もかかっているとのこと。鶏肉や卵を食べても大丈夫なのか」との質問に対し、SFSSでは①食品中ハザードのリスク評価とリスク管理が綿密にできているか（リスクの大小が正確に分かっているか）②その健康リスクが当該消費者にとって許容範囲か（安全か）どうか――を挙げ、「この2点を分かりやすく伝えれば、消費者自身が安全か否かのリスクを判断し、話したうえで、雇用調整助成金について整助成金は出ないが、関しっかりと周知して適正に対処していくことをホームページに公表し、周知徹底を図っていきたいという言葉もいただいた。皆様からいただいた声を実現できたことに安心している」と述べた。

山﨑氏は、リスクと安全、安心について「リスクは将来、どの程度危険なのかという物差しで不確実性を伴うため、リスクが大きくても事故に遭うとは限らない。